

令和7年度 第1回阪南市地域公共交通会議 会議録

【開催日時】 令和7年6月9日（月） 午後3時00分から開催

【開催場所】 阪南市役所3階 全員協議会室

【出席委員】 委員25名中、22名の出席の下、開催した。

井上 稔、魚見 岳史、森貞 孝一、川村 和幸、竹中 宏子、南 憲治、小森 成人、
讃井 聡、尾原 健一、西谷 興季、杉田 精教、田中 郁代、日野 泰雄、伊勢 昇、
小林 征治、下川 昌、徳田 弥之、田中 久美子、宮崎 健一、藤本 健一、奥野 英俊、
井本 昌彦

【欠席委員】 小川 和彦、栗原 岳志、富岡 弘

【傍聴者】 3名

【案 件】

- （1）副会長の指名について
- （2）令和6年度阪南市地域公共交通会議決算報告について
- （3）地域公共交通計画策定費に関する負担金協定書について
- （4）令和7年度阪南市地域公共交通会議補正予算（案）について
- （5）阪南市地域公共交通計画の策定について
- （6）阪南市地域公共交通計画策定業務の実施について
- （7）阪南市地域公共交通計画策定業務の委託業者の選定及び契約について
- （8）その他

【結 果】

- ・ 会議及び会議録の公開について、承認を得た。
- ・ 副会長の指名について、承認を得た。
- ・ 令和 6 年度阪南市地域公共交通会議決算報告について、承認を得た。
- ・ 地域公共交通計画策定費に関する負担金協定書について、報告を行った。
- ・ 令和 7 年度阪南市地域公共交通会議補正予算（案）について、承認を得た。
- ・ 阪南市地域公共交通計画の策定について、説明を行った。
- ・ 阪南市地域公共交通計画策定業務の実施について、承認を得た。
- ・ 阪南市地域公共交通計画策定業務の委託業者の選定及び契約について、承認を得た。

【質疑応答】

1) 副会長の指名について

(会 長) 原案通り承認するということによろしいか。

(異議なし)

2) 令和6年度阪南市地域公共交通会議決算報告について

(会 長) 原案通り承認するということによろしいか。

(異議なし)

3) 地域公共交通計画策定費に関する負担金協定書について

(会 長) 本件については報告案件になっておりますが皆様何かご意見等はございますでしょうか。

(意見等なし)

4) 令和7年度阪南市地域公共交通会議補正予算(案)について

(会 長) 原案通り承認するということによろしいか。

(異議なし)

5) 阪南市地域公共交通計画の策定について

(会 長) 事務局より説明のあった内容について皆様何かご意見等はございますでしょうか。

(副会長) 本市の計画の場合は、基本計画があり、その実施計画として網形成計画があったという整理となっているが、今後マスタープランと実施計画を一本化するということで、マスタープランに記載するビジョンや理念のようなあり方については大きく変わることはないと思うが、実施

計画となる部分については PDCA サイクルを回しながら事業を実施していく必要もあるため、ある程度見直しも必要と考えるが、実施計画の計画期間などの補足はあるか。

(事務局) 基本の計画期間については 10 年程度と考えているが、実施計画については、中間見直しなど PDCA サイクルを回すための手法等についても考えていきたい。

(会 長) 今回、策定する計画については、副会長からいただいたご意見も踏まえた中で、丁寧に計画策定を進めるようお願いします。

(委 員) 今回 2 年間で計画を策定するとのことであるが、この後に説明があると思うが、1 年ごとでの契約となっているのは国の補助金に関係しているのか。

(事務局) お見込みのとおり。国の補助金活用のために、単年度の業務での契約が必要になる。契約関連についてはこの後の議題にて説明する予定。

(委 員) 今回の計画期間について(案)では令和 21 年と 12 年ほどの計画期間となっていると思うが、今までは 10 年程度であったと思うが、意図などはあるのか。

(事務局) 立地適正化計画など、本市の計画との整合、見直しのタイミングなどを考慮して 12 年を設定している。しかし今回はあくまで(案)であり、今後議論していくにあたり計画期間が変わることについては特に問題はないと考えている。

(会 長) 他に意見がなければ、皆様からいただきましたご意見等を踏まえて今後進めて参りたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

6) 阪南市地域公共交通計画策定業務の実施について

(委 員) 調査対象数について 3,000 部となっているが、世帯数に換算すると、何%ぐらいになるの

か。

(事務局) 阪南市の世帯数が 24,206 世帯ということで、3,000 に対して 12.3%となっております。

(委 員) 令和 3 年のパーソントリップ調査の分析等について、この時期はちょうどコロナ禍であると思う。国の予算を入れてトータル 1,000 万円程度の事業なので、ビッグデータとか IC カードなどのデータも使い、本当の実態がわかるような調査をしていただけるように、しっかりと取り組んでいただきたい。

また、現状の把握について、地域交通は、路線バス事業、事業者さんとか、事業者さんが頑張っ
てこられた路線だけでなく、全国的にしんどい状況になってきてますので、現状ある送迎バス、
とか自家用で動いてる部分で活用できるものがないか、阪南市内の様々な交通に関する取組を把握
できるような調査となるように契約をしていただきたい。

最後にアンケートについて、よくあるアンケートは、何円だったらバスに乗るのか等を聞くアンケートがあるが、そうではなく、アンケート調査によって、阪南市の地域交通を作るっていう意義みたいなものを、回答する市民の方がわかるように、アンケートについても作成していただきたい。

(事務局) 今回、業者の選定契約までご審議いただき、契約が整いましたら、事業者と協議を進めて参
りたいと考えているところです。

(会 長) 他に意見がなければ、原案通り承認するという事でよろしいか。

(異議なし)

7) 阪南市地域公共交通計画策定業務の委託業者の選定及び契約について

(会 長) 原案通り承認するという事でよろしいか。

(異議なし)

8) その他

(事務局) 事務局より、前回会議にて路線バス（尾崎線）の廃止に伴う阪南市コミュニティバスの運行計画（案）について、パブリックコメントなど行政手続きを実施。特に問題はないと判断し、9月1日のダイヤ改正に向けて南海ウイングバス株式会社と手続きを進めているところである旨を報告。

【午後4時5分閉会】